

神戸のお嬢さん

まわりをなごます安らぎ美人

近藤美香さん（ピアニスト）



みなと異人館にて 撮影／池田年夫

美香さんは神戸海星から大阪音大を卒業され、現在はピアニストとして活躍されています（ちなみに私達は親子ではありません）。

先日、日本が世界に誇る演奏家横山幸雄さんのリサイタルがピアジュリアンで開かれました。神戸の文化の発展を願い、クラシック音楽を生で提供しはじめて二年弱。国内のトップレベルを含め、四十名を超す演奏家たちが日替りに演奏をしてくれるようになりました。この演奏家たちのルーツは美香さんの広い人脈からスタートしたものです。彼女自身も「凄い人たちが気軽に集まってくれるようになつた」と感激されています。彼女の知性と教養、そして明るさに乾杯！



推薦者 近藤英二
株式会社こんどう代表取締役

神戸のお嬢さん

さわやかな風をはこぶ女性^ひと

雨宮歌奈子さん
(株)ケーオーツー 営業企画部課長



六甲アイランドにて 撮影／米田英男

広告宣伝・販売促進の企画制作をしております。私共で、敏腕ディレクターとして営業から企画・コーディネイトと大活躍をしてくれています。幼稚園の先生の経験もあり、子供好きで本当にやさしい性格です。

仕事柄、多業種の方との交流があるのですが、もちろん頭の良さと、女性らしい心づかい、気配りでどんな得意様からも評判が良く、社員からも厚い信頼をよせられています。

ご家族も、お母様の人柄の良さがにじみでた、あたたかみのある素晴らしいご家庭です。スポーツ・映画・音楽と趣味も広く、人として、男として、上司として、「いつもそばにいてほしい女性」と思える人です。

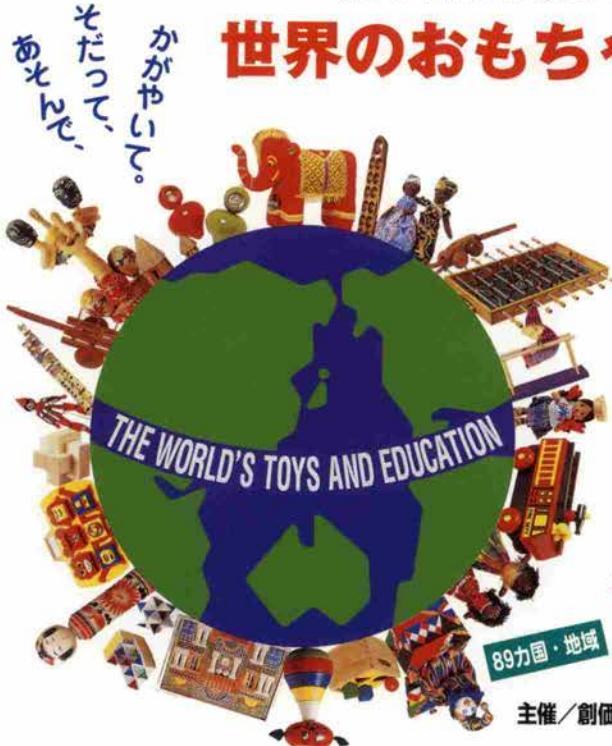


推薦者 岡田勝
(株)ケーオーツー代表取締役社長

知り合える歓びを未来へ

世界のおもちゃと教育展

入場無料



地球の未来をになうのは、こどもです。
おもちゃとの触れ合いの中で、
こどもは優しさや思いやり、
人として生きることを学ぶのです。
そんな世界のおもちゃを、
一堂に集めてみました。
「世界のおもちゃと教育展」新鮮な体験が、
あなたを待っています。

そごう 神戸店 本館8階催会場

平成11年8月3日(火)～8日(日)
午前10時～午後7時30分

※ 但し、3日は正午から開場、8日は午後5時に閉場

主催/創価学会「世界のおもちゃと教育展」神戸展実行委員会

～Kobe Seaside Bon Odori～
こうべ海の盆踊り'99

11年8月21日(土) 16:00～21:30
神戸メリケンパーク広場

●ゲスト歌手の生演奏に誰でも踊れる盆踊り
●よさこい隊踊り
●屋台・練習など楽しい夜市
●SUMMER LANDLESS SESSIONS - サマーランドレスコンサート -

人生最後のセレモニーを
お世話させていただきます。

◆24時間営業◆

もしもの時には…
まず、(株)神東社にご連絡ください。当社相談員が昼夜・遠近に関わらずご指定場所まで出張して、ご遺族の立場にたってご奉仕申し上げます。

((メモリアルサービス))

<http://www.n-city.co.jp/shintosya>
インターネットでの情報
サービスを行っています。
・おわかりにならないことが
ありましたら、お気軽に弊
社へお問い合わせください。

信頼の輪を広げる。
株式会社 神東社

651-0067 神戸市中央区神若通2丁目2番6号

078(222)2222

■支店

078(928)3233

078(371)9726

葬儀会館

神東会館1階 078-222-4267 (きく)

神東会館2階 078-221-3424 (ききょう)

078-222-4770 (ゆり)

※ 上記以外にも集会所・寺院等の式場もお世話いたします。

神戸市規格葬儀取扱指定店組合加盟

暑中お見舞い申し上げます

1999年
盛夏



絵／寺門孝之



神戸のハイセンスな専門店でお買い物を！



今啓パール株式会社

本社 神戸市中央区山本通2-6-15/パールビル
TEL.078-242-3399 (代)
ショールーム TEL.078-242-7380 (代)

●TOTAL INTERIOR HOUSE●



インテリア イリフネ

神戸市灘区新在家北町1-1-19
KOIZUMI PLAZA内
TEL.078-851-2841

HAIR & FACE *Elizabeth*

株式会社 美容室 エリザベス

本店 神戸市中央区三宮町2-6-4三上ビル3F

TEL.078-331-8894 FAX.078-331-4917

住吉店 神戸市東灘区住吉本町2-10-42

TEL.078-851-6388 FAX.078-822-6013

レンタルブティック

Elle エル (本店) 階上TEL.078-331-3258

MORI Pearls Co. Ltd.

森真珠 株式会社

代表取締役 森 智雄

本社 神戸市中央区二宮町1-4-15

TEL.078-241-2125 (代)

本社ショールーム TEL.078-222-5881 (代)

オーバー店 神戸市中央区北野町1 JR神戸駅口3F

TEL.078-262-2858(代)・2859

喜びと感動の創造

三宮写真室

本社 神戸市中央区二宮町2-10-7扇都東ビル2F

Phone.078-241-5547 Fax.078-241-5717

相模スタジオ 神戸市中央区中山手通2-24-8

Phone.078-241-5530 Fax.078-222-4127

We Serve The Best Quality.

私たちは、最高の品質を提供します。

株式会社



神戸市東灘区田中町3-19-14
TEL.078-441-2041 FAX.078-441-5858

人間みな仲間

古澤峯子

（神戸日豪協会副会長）



私どもこの世に生きている者はみな仲間です。共生とか地球人とかの言葉を待つまでもなく、誰とでも挨拶をし、相手の親切に対しては「ありがとうございます」と言い、また席を譲り合うことは、人間にとつて一番大切な心の豊かさの具体的な形であつて、しかも、いまさら、言葉にすることが恥ずかしいほど、当たり前のことですが、なぜか、日本の社会にはこのことが育ちませんでした。知らない人に対しても、見向きもしないという習性が身についています。私自身、このことに対する何の疑問も持ちませんでした。

一九六五年八月、ある会議に出席のため訪豪。オーストラリアの人たちの温かい人間関係に驚き、魅了されました。

まず、通りを歩いていて、目があえれば、知らない人でもニッコリと挨拶をしてください。日本語教師として、大学勤務中はバス通勤でしたが、バス停まで歩いていますと、通りかかった車が停まって「お乗りなさい」とおっしゃつてください。大学の廊下を教材のプリントを抱えて歩いていますと、通りかかった方が、そのプリントの山をサーッと引き取つて教室まで持つて行ってくださる、などなど、他への配慮の行き届いていることに

感動いたしました。と同時に、日本人もこうならなければと思いました。そのため全日本人にオーストラリアに行つてもらいたいと思いました。私自身、この実状を本で読んだり、話として聞いたのでは、本当に理解できなかつたと思いま

す。アメリカのフルブライトはこんなふうにおつしやつています。

「本来なら、全アメリカ人に一度異文化の地に行つてもらいたいのだが、それが不可能だから、外国から学生を受け入れる制度を作つた」と。

同じ思いで、私も一九六九年、帰国し、神戸日豪協会を創設しました。若い人たちの交流の場を作るためです。

当協会初代会長、元兵庫県知事阪本勝氏が訪豪後に書かれた「豪州人間美学」を紹介します。

人生とは自分が生きることではない。人生とは人と人との間に存在する一種のかぐわしい現象である。こう思った瞬間、私は豪州好きになつていて。
「ああ、どこから湧いてくるのか、頼みもせぬのに示してくるあの行き届いた親切の泉」。

STEP GLOBALLY STEP NATURALLY

地球を歩く

自然に歩く

STEP COMFORTABLY

快適に歩く



ヘルスシューズを専門に15年



「健康靴に関するトータルなサービスを提供している株式会社アリスは、おかげさまで、今年で15年目を迎えます。整形外科靴マイスターと経験豊かなスタッフが、お客様の足の悩みに専門的に取組んでいます。ご好評のブランドとデザインを豊富に取り揃えておりますので、是非一度ご来店ください。」

代表取締役社長 アリス・クリスチャンス

Japan's Premier Health-Shoe Specialist

高級健康靴と関連資材輸入・機材輸入

アリス

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通り5-6-6

TEL:078-382-2101 FAX:078-382-2150

営業時間:10:30a.m.~6:30p.m.年中無休

お返しのむずかしさ

村松 友視 題字も

イラスト／灘本唯人

ある日あるときある店で、あるすごい酒を飲ませてもらつた。

その店は、ジャンルでいえば鮨屋なのだが、魚をこよなく愛する親方の出す奇天烈な「食べ物」が、料理法も味も尋常のレベルでなく、『料理』というよりは魚を知り尽したあげくの「腑分け」といった趣きのものを出してくるのだ。

たとえば、石ガレイの胆汁を塩にして三年ねかせ、塩と分離して結晶体のようになつた若草色の胆汁を、爪楊枝の先に引っかけるようにして舐めるやつとか、イカの眼球を支える筋肉とか、真ガレイの脳ミソとか、アナゴの胆の胃詰めとか、サンマの椎間板などを出す……とにかくふつうの鮨屋、いや魚料理を出す店とは、まったくがう流儀の、しかしがれつきとした鮨屋なのだ。

この店で食べた、マグロのテッパ（背骨に近いあたりの赤身）に、ほんの少しの塩をパラリと降り落したのなどを食べたときは、ほとんどカルチャーショックをおぼえたものだつた。また、同じマグロのトロの上に、細かく刻んだ（すつたのでは

駄目）ニンニクをちよびつと置き、そこへさらにちよびりの塩を添えたのを食べさせられたときもまた、醤油の邪魔をされずに初めてトロと向き合つた気分を与えられた。

こんなメニューが次々と出てくるものだから、私の頭にいつしか「奇天烈な店」なるタイトルが浮かび、この店を舞台にした大人のユーモア小説を書いてみようという、秘かなる思いが宿つた。しかし、ご多聞にもれずこういう店には、時にきびしい、そんじよそこいらのものに飽きたという風情のご常連客がいて、世間に店を紹介したりしたら爪はじきにされそうな気配が、やはりただよつていた。

ならば、町の名も店の名も伏せて、ファイクションとして書けばどうだろうと、びくつきながらも私の中の、物書きの性根が頭をもたげてきた。そして、その性根というやつがまたかなりしたたかで、私はついにこの店を舞台とした小説をある雑誌に連載したあげく、単行本まで出してしまつた。題して「奇天烈な店」……印象のまんまというありさまである。



こういう、凝りに凝った店にはそれにふさわしい客が多く、複雑きわまりないインテリや、漁師しか信用しない歯医者などが常連となっていたが、意外にも私の連載小説に対してやさしい気持で読んでくれた。そして、たまには自分がいま好んで飲んでいる日本酒などを、ふるまつてもらつたりもした。

私は、味が分るタイプでもないのに、こんな小説を書いていることに、どこかうしろめたさを感じていたのだが、おいしい日本酒をご馳走になつたりすると、私なりにお返しをしなければという、これまたよく考えれば図々しい思いが湧いてくるのを禁じ得なかつた。そして、とりあえず自分の知識の中での極上品を選んで手に入れ、偶然みたいなふりをして、ご常連の酒宴に供したりした。

ところが、ここのご常連の飲む酒なんてのは、酒蔵のおやじとのつき合いの中から、非売品の何々といったレベルで、市販されている酒の中で選んでいる私などとは、プロとアマとの差があつた。にもかかわらず、ご常連たちはごく自然に私が持つて行つた酒をほめてくれ、私に恥をかかせないよう心遣いしてくれた。

考えてみれば、どんな酒であれこの店の中では脇役、とうてい主役というわけにはいかないのだ。その雰囲気の中でおいしい酒のお返しをするなんぞという感覚は、大事を知らず小事にはしる輩の気の弾みというわけで、ゆつたりと受け入れてくれたご常連の凄みを感じるしかなかつた。

年に何度か、グルメ・ブームなんて屁みたいなものと思うことがあるが、この「奇天烈な店」に足を運んだときと、おおむねかさなつているなど気づいた。いや、世間は広く、狭い店からぞく世界は広いというわけであります。

井植文化賞



■文化芸術部門

鈴木 雅明

（指揮者、オルガン・エンバロ奏者）

●選考委員

小石 忠男

響 敏也

大村 治郎



■科学技術部門

上坪 宏道

（助高輝度光科学研究センター理事、放光線光学研究所所長）

●選考委員

石山 靖男

北村 新三

加藤 征史郎

山村 博平

戦後、日本の復興と繁栄に大きな足跡を残した三洋電機株式会社の創設者、故井植歳男氏の遺志により、昭和44年11月に「財團法人井植記念会」が設立されました。同会は、兵庫県在住、またはゆかりのある個人、あるいは団体で、それぞれの分野で目覚ましい活躍をされたり、多大な貢献をされた方（団体）の功績

を讃え、地域社会のよりいっそうの発展に寄与したいと、昭和52年に「井植文化賞」を制定しました。

第23回のことしの6部門の受賞者は、選考の結果、次のとおりに決定しました。受賞者にはライオンのブロンズ像と、副賞として賞金（個人30万円、団体50万円）が贈られます。

財団法人井植記念会（井植貞雄理事長）は、本年、創立30周年を迎えました。これを記念して、来る十月九日（土）に、井植記念館で三十周年記念式典が行われます。また、このときに第23回井植文化賞の表彰式も予定されています。

平成十一年十月九日（土）午前十一時～正午 第23回井植文化賞表彰式

神戸市垂水区青山台1・21・1
TEL 078・751・5216

午後十二時三十分～二時（財）井植記念会30周年記念式典

記念式典では、井植文化賞をはじめ同財団記念館で三十周年記念式典が行われます。

（順不同）

鈴木雅氏写真／© K.Miura



■報道出版部門
震災復興番組
「復興'99」

●選考委員
山口一史
小林幹彦
上羽慶市

（NHK神戸放送局制作・田村泰崇



■社会福祉部門
ボランティアグループ
「やすらぎ」

代表 秋本菊江

●選考委員
野上文夫

津田元
橋本明



■国際交流部門
藤岡重司

●選考委員
新野幸次郎
宇都宮浩
住野和子

（財）兵庫県海外同友会事務理事



■地域活動部門
宝塚NPOセンター

（事務局長 森綾子）

●選考委員
小笠原暁
小室豊允
林五和夫

●選考委員

第23回 井植文化賞

文化芸術部門

バロツクの宗教作品を理想的に上演
鈴木 雅明

バロックの宗教作品を理想的に上演

選考委員

響敏也

大村台耶

朝日新聞学芸部記者

パロック楽団と合唱団からなるバッハ、コレギュム・ジャパンを率いて、バッハの最高傑作「マタイ受難曲」を実に見事に演奏した（四月一日、ザ・シンフォニー・ホール）。クリストの受難の物語を音楽化したこの作品を劇的に感銘深く聴かせた。思わず涙を流す聴衆も見られた。神戸市出身の鈴木雅明さんは、一九八五年から神戸芸術工科大学音楽学部で定期的にバッハ

のカンタータシリーズを演奏してきたバッハ・コレギュム神戸と松蔭室内合唱団を九〇〇年、バッハ・コレギュム・ジャパンに改組。バッハを中心とするバロックの宗教作品を理想的に上演し、普及させた功績は大きい。

一月にはイスラエルでも公演。演奏を聴いたイスラエルの音楽評論家は「日本人がこんなにすごい演奏をするとは」と、いすから転げ落ちるほど感動したという。

神戸発の世界的な演奏団体を鎌木さんがさら
に発展させてくれることを願つてやまない。

大村治郎

■選考経過

文化芸術部門は美術、文学、音楽が毎年交替制で選考が行われ、今回は音楽。

復興の象徴として、今年オーブンした神戸こくさいホールに対しては、どのようなプログラムをこれから提供していくか、今後の活動内容に期待が寄せられた。その他には今年の二月に本名徹次を指揮に迎えた魔笛で好評を博した神戸オペラ協会や、オペラのオーケストラでも着実にその才能を發揮しているピアニストの小梶由美子、シャーベルトの歌曲をすべて歌う快挙を成し遂げたテノールの畠儀文など、の活動に注目が集まった。

現在、東京芸術大学助教授、神戸松蔭女子学院大学講師として教鞭を取りながら、パロック音楽と合唱のバッハ・コレギウム・ジャパンをまとめ、国際的にも精力的なその活動には高い称賛の声が集まる。今年の一月にはイスラエルでの公演を行い、現地でも絶賛を浴びたその功績に対し、全員一致で受賞が決定した。

●受賞者メモリアル

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
青木はるみ (詩人)	神戸雅フイオンズクラブ	山沢栄子 (写真家)	延原武春 (指揮者)	安水穏和 (詩人)	昇 外義 (画家)	田原富子 (ピアニスト)	多田智満子 (詩人)	荒木高子 (陶芸家)	横井和子 (ピアニスト)	山田幸平 (作家)	河口龍夫 (現代美術)
22	21	20	19	18	17	16	15	14	13		
植松奎二 (彫刻家)	佐伯敏光 (作家)	甲南高等学校貴志康 記念室	鷺本昭三 (前衛美術)	鈴木漢 (詩人)	大前 哲 (作曲家)	宇江敏勝 (作家)	光安義光 (建築家)	菅沼潤 (演出家)	今竹七郎 (グラフィックデザイナー)		



バッハ・コレギウム・ジャパンで指揮を執る鈴木雅明 © K. Miura

第23回 井植文化賞



大型放射光施設SPRING-8

「SPRING-8」の建設と研究に貢献 上坪 宏道

スプリング エイト

科学技術部門

●選考委員

石山 靖男

北村 新三

（神戸新聞編集局長）

加藤 征史郎

（神戸大学工学部長）

山村 博平

（神戸大学医学部長）

播磨科学公園都市に世界最大の大型放射線光施設が建設され、兵庫県から世界に向かって貴重な情報が発信されつつある。「SPRING」とは「Super Photon ring」の略称、8とはそのエネルギーが八十億電子ボルトという意味であるが、高速に近いスピードまで加速された電子を磁石によって進行方向を曲げると、強い光を出す。これが放射光である。

今回の受賞者は、この国家的事業の推進を行ってきた上坪宏道氏に決定した。理科学研究所における研究の実績をもとに昭和六十三年以来、播磨で「SPRING-8」の開発・建設のリーダーとして中心的役割を果たす。その結果、平成九年三月、初実験に成功。この施設は単に学問的真理の探究のみでなく、和歌山ヒ素事件の極微量の物質分析のように我々の社会生活においてもその重要性が認められつつある。同氏の指導によりこれから世界的な研究成果が続々と生まれることだろう。（北村新二）

■選考経過

今回の候補者は工学分野からは大型放射光施設「SPRING-8」を所有する高輝度光科学研究中心センター理事の上坪宏道。農学分野からは生物化学の愛蘭泰生が昨年、一昨年に続き二度目の推薦となつた。医学分野からは体内時計と言われる生体リズム研究で昨年目立った活躍のあつた岡村均、長年の法医学研究が評価された藤原美定、龍野嘉紹。

とくに今回は、ここ数年の選考でも毎回話題になつた「SPRING-8」が本格的に起動し、昨年の和歌山ヒ素事件においてもその性能を發揮したことなどが評価され、上坪宏道の受賞となつた。なお、本部門の選考対象に關して農学、医学、工学のほかに理学分野からの候補者を加える必要性が指摘された。ただ、本部門は科学技術のなかでとりわけ「応用技術」に視点をおいて選考が進められてきた傾向があり、その意味で今回の受賞は時宜を得たものといえよう。

●受賞者メモリアル

1 横井春輔	（岩盤力学）	13 田中千賀子	（薬理学）
2 杉山武敏	（遺伝子学）	14 安田武司	（熱帯有用植物学）
3 土田広信	（農芸化学）	15 廣畠和志	（整形外科学）
4 鳩田勝次	（都市計画・建築学）	16 神鳥安啓	（応用化学）
5 沢村誠志	（障害者の社会復帰）	17 加藤征史郎	（生殖生物学）
6 安藤四一	（音響の研究）	18 天津睦雄	（耳鼻咽喉学）
7 辻 芝一	（家畜育種学）	19 山本恵一	（電子工学）
8 西塚泰美	（生理学）	20 真山滋志	（バイオテクノロジー）
9 中岡睦雄	（ワードレクトロニクス）	21 水野耕作	（整形外科学）
10 清水 異	（微生物生態学）	22 森脇俊道	（精密工学）
11 岡田安弘	（脳機能生理学）		
12 賀谷伸幸	（計測工学）		

第23回 井植文化賞

社会福祉部門

いつでも気軽に外出のお手伝い

ボランティアグループ「やすらぎ」

●選考委員
野上文夫

津田元
(神戸市看護大学副学長)

橋本明
(家庭養護促進協会事務局長)



タクシー会社での、障害者や高齢者へ対応するための講習会

障害者や高齢者の外出を介助するボランティアグループとして平成元年に誕生した。現在会員は六十人で学生、主婦、労働者、高齢者で構成され、年代も十代から七十代までと幅広い。主な活動内容は、外出や通院通学介助、障害者の訓練介助、福祉施設等の行事協力、友愛訪問、身辺生活介助などである。特に大震災後は、学校や企業、地域団体からの依頼で車イス・アイマスク体験学習への講師派遣も増え、一般市民を対象とする活動へと発展している。グループ代表の秋本菊江さんは「私たちのグループ構成のよう、学生から高齢者まで、さらに神戸在住の外国人をふくめて誰でも気軽にボランティア活動ができる場づくりへと広げてきたい」と将来の夢を語っている。活動十一年目を迎えて、介護保険ではできない市民の日常生活支援をさらに広げ、神戸に福祉文化を根づかせる活動を続けている。

（野上文夫）

障害者や高齢者の外出を介助するボランティアグループとして平成元年に誕生した。現在会員は六十人で学生、主婦、労働者、高齢者で構成され、年代も十代から七十代までと幅広い。主な活動内容は、外出や通院通学介助、障害者の訓練介助、福祉施設等の行事協力、友愛訪問、身辺生活介助などである。特に大震災後は、学校や企業、地域団体からの依頼で車イス・アイマスク体験学習への講師派遣も増え、一般市民を対象とする活動へと発展している。グループ代表の秋本菊江さんは「私たちのグループ構成のよう、学生から高齢者まで、さらに神戸在住の外国人をふくめて誰でも気軽にボランティア活動ができる場づくりへと広げてきたい」と将来の夢を語っている。活動十一年目を迎えて、介護保険ではできない市民の日常生活支援をさらに広げ、神戸に福祉文化を根づかせる活動を続けている。

■選考経過

今回の選考で、以前候補には挙げられたものの受賞には至らなかつた団体や個人を再度選考対象にしては、という提案があり、昨年の候補であつた長田区で地域老人デイサービスを行つてゐるこまどりの家が再推薦された。

そのほか、新たに候補に挙がつたのは、ボランティアグループやすらぎ、知的なハンディを持つ子どもの親の会である神戸市手をつなぐ育成会（みどり会）、二十年間の活動が評価された識字学級のあゆみ教室などの団体、グルーブ。また、国際交流の面からも評価の高かつたアジア各地に保育園を設立している学が丘幼稚園の箕浦志保子、医療分野からは終末医療（ホスピス）にたずさわる河野博田らの活動も注目された。

最終的には、地元神戸に根づく福祉を目的として地道に活動を続け、今年十一年目を迎えたやすらぎに今回の受賞が決定した。

●受賞者メモリアル

11 10 9	8 7 6 5 4 3 2 1	21 20 19 18	17 16 15 14 13 12
エリア会 実施委員会 11 涌井安太郎 山本博繁 鈴木都	福来四郎 小畠延子 神戸市立友生養護学校 春本幸子 富永繁男 神戸大学看護ボランティア 米田寛子 神戸東部地域入浴サービス	誕生日ありがとう運動 兵庫ボランティア協会 神戸いのちの電話 賀川記念館 点証ボランティアグループ連絡会 KOB E在宅ケア ボランティアグループはまえみ 櫻崎茂登子 楽団あぶあぶ	22 神戸ライフ・ケア協会 神戸新聞厚生事業団

第23回 井植文化賞

「地域活動部門」

市民の手で市民活動を支える

宝塚NPOセンター



市民活動団体との相談業務

阪神大震災から早くも四年余りの歳月が流れましたが、あの時に燃え上がったボランティア精神の炎が近頃では何故か小さくなりつつあるように感じられてならない。しかし、その中にあって市民の手で市民活動を支えるために自主性・独立性のある着実な歩みを続けているのが「宝塚NPOセンター」である。その素地は五年前に開かれた「ボランティアフェスティバル」において市内のボランティア団体が一堂に会し、互いの連帯と活動の発展を誓い合つたことに始まる。大震災を経てボランティア・ネットワークの必要性に対する認識が一層強まり、震災直後からNPOセンター設立に向けての動きが活発化して、昨年一月フェスティバル実行委員会を発起人としてセンター設立を宣言、爾来、福祉のみならず、芸術・文化・教育・環境などさまざまな分野での市民活動のための人材育成、NPO立ち上げへの支援・助言等、積極的かつ具体的な活動を展開し、法人格取得を目指している。

（小室豊允）

●選考委員

小笠原暁
（学術博士）

小室豊允
（姫路協大大学長）

林五和夫
（ふるさとひょうう創生塾塾長）

■選考経過

ユニークな地域活動が増える中、今年オープン一年を迎える北野工房のまちが候補に挙げられた。廃校になった小学校をそのまま利用した工房に、その話題性や町おこしのモデルとしての評価は高かつた。

また、持続的に地域に密着したボランティア活動をおこなっている組織として、さまざまな理由で親と暮らせない子供たちを一般家庭が預かり育てる里親運動を展開している家庭養護促進協会の名前も挙がった。宝塚NPOセンターは、市民活動団体を支援するNPO（民間非営利団体）である。ボランティア活動に留まらず、芸術・文化・教育・環境など生活のさまざまな分野において、これまで行政まさにしてきただちづくりを「自分の住む街は自分の手でよりよくしよう」として活動する市民団体の支援を継続してきた点が評価され、受賞に至った。

●受賞者メモリアル

12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1	城崎郡日高町 明石市民のコミュニティ活動 一宮町文化協会 尼崎郷土史研究会 尼池南部地区自治連合協議会 月刊神戸つ子 明延ふるさとづくりの会 K I C S	13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	ブナを植える会 松島興治郎 山村留学制度 山村硝子株式会社 淡路青年会議所 保健医療福祉ICカードシステム 開発検討委員会 情報センター 洋菓子K O B E 展 戸谷 松司 中西 通	丸山地区住民自治協議会 アンドレ・ブリュネ 神戸新聞文化センター 尼崎市演劇連絡協議会
----------------------------	---	-------------------------------	--	--

第23回 井植文化賞

「報道出版部門」

街と心の復興を様々な視点で捉えつづけた

NHKG神戸放送局制作 「復興'99」

震災復興番組

震災後から足かけ五年間、放送しつづけていたNHKG神戸放送局のローカル・テレビ放送「復興'99」が受賞の栄に浴した。

「復興'99」は、震災の年「がんばろや！阪神・淡路」というタイトルでスタートし、その後「復興'98」「復興'99」とタイトルを変え現在



95年の2月頃、震災直後の取材風景。中央区にあった仮設のNHKG神戸放送局前で



日曜日の朝の顔。キャスターの田村泰崇氏（写真右）と山田美鈴さん

に至っている、ローカル番組としては珍しい長寿番組である。この番組のテーマは、被災した地域を「デイラクター」や記者、アナウンサー、報道カメラマンが職種上のそれぞれの視点を生かしてきめ細やかに「街の復興ぶり」「被災者の悩み」「行政の取り組み」を発掘しつづけ番組としているものである。放送本数は六月末現在で百六十一本、「街の復興」「心の復興」「経済の復興」「被災者・有識者の声」などなど

テーマは多岐にわたっている。高齢化がすすむ大都市の直下型地震から不幸にも得た様々な教訓を今後も放送を通じて風化させない一助にしたいと考えている。

最後に、審査委員から出た、特集編で全国発信をとか放送時間帯の工夫をとの注文を肝に銘じてこれからもローカル放送局の役割を果たしていきたい。

（小林幹彦）

●選考委員
山口一史
（ラジオ関西代表取締役社長）

小林幹彦
（NHKG神戸放送局局長）
上羽慶市
（神戸新聞社論説委員長）

に至っている、ローカル番組としては珍しい長寿番組である。この番組のテーマは、被災した地域を「デイラクター」や記者、アナウンサー、報道カメラマンが職種上のそれぞれの視点を生かしてきめ細やかに「街の復興ぶり」「被災者の悩み」「行政の取り組み」を発掘しつづけ番組としているものである。放送本数は六月末現在で百六十一本、「街の復興」「心の復興」「経済の復興」「被災者・有識者の声」などなど

テーマは多岐にわたっている。高齢化がすすむ大都市の直下型地震から不幸にも得た様々な教訓を今後も放送を通じて風化させない一助にしたいと考えている。

最後に、審査委員から出た、特集編で全国発信をとか放送時間帯の工夫をとの注文を肝に銘じてこれからもローカル放送局の役割を果たしていきたい。

出版では、古代から現在に至る淡路島出身の偉人を紹介し、淡路史といえるまでに仕上げた田村昭治著「ここに人あり」や花隈の老舗料亭「松廬家」の女将四代奮闘記であるウドノ葉子著「ああ、万事塞翁がお・ん・な」（文園社）、株式会社アロードまちづくりコーポレーションが制作した「TORROA D STYLE BOOK」（水田裕子（Wアソシエイツ）編著、神戸新聞出版センター）が候補に。また、計十七人の記者とカメラマンが街を徹底的に歩き、復興に汗する市民の姿を記した「ネオ・クラシックな街—神戸歩いて百景」（神戸新聞社編）は街と共に歩む地元紙らしい取り組みが高く評価された。

しかし、最終的には放送での「復興'99」（NHKG神戸放送局）が「がんばろや！阪神・淡路」としてスタートして以来、五年の節目にあたること、見えにくくなつた震災の姿をより深く様々な角度から捉え市民の支えになつたと評価され、今後の期待も込めての受賞となつた。

●受賞者メモリアル

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1 「あなたの愛の手を」 | 11 「バルモア病院日記」 |
| 2 神戸空襲を記録する会 | 12 「スタジオTOKYOホットに語ろう！」 |
| 3 兵庫県学校厚生会／落合重信 | 13 「収録港湾労働神戸港」 |
| 4 サラ・テレビ「訪ねてみたい兵庫の手づくり」春木一夫 | 14 「ひょうご経済人100人」 |
| 5 「兵庫探検」「兵庫史を歩く」 | 15 「火輪の海」 |
| 6 「兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座」 | 16 「メダルは笑顔に輝いた」 |
| 7 「神戸の中堅150社」 | 17 「兵庫史を歩く」 |
| 8 「神戸新聞淡路総局『淡路祭事記』」 | 18 「播磨学講座全四巻」 |
| 9 「神戸からこんにちは」 | 19 「コウベ・ドラマ8」 |
| 10 「天津からこんにちは」 | 20 「神戸新聞コラム『正平調』」 |
| 11 「私たちの昭和史」 | 21 「AM神戸『風を抱け白龍城』」 |

■選考経過

第23回 井植文化賞

■選考経過

昨年に引き続き、千趣留学生奨学財団が候補にあり、留学生同士の交流の場として毎年ユニークな企画をたて、彼らの支えとなっている点が評価された。

藤岡 重司

ひとつのことやり遂げることがいかに難しく、また苦しいことか、その経験をした人にはよく判ることである。藤岡重司さんは一九四六年に中国から引き揚げられてから今日まで、一

貫して残留邦人の引き揚げの促進と帰国人等支援に献身してこられた。ある時には引き揚げ者の補償実現のために国会前座り込みもされた。帰国者の生活自立の前提となる日本語習得のため

に開いた日本語教室も二十一
年目になる。念願であった日
中友好交流センターも吉林省
された「日本のお父さん」である。その活動は日中
友好のかけ橋となつたとして、今回の受賞者が決ま
つた。

20年以上続く中国帰国者生活相談会。現在は毎週土曜日に兵庫県福祉センターで行われている



ご自身の50年史を綴った「愛情に国境はない」出版祝賀会にて。
左は奥様のとよ子さん

人孤児養父母接待所として開設されることになったといわれる。年中無休で生活相談にも応じてこられた藤岡さんも八十五歳になられる。日本人はいつの間にか生命より大切なものがあることを忘れてしまつたと嘆いているジャーナリストがいるが、藤岡さんはその大切なものを追い続けて生きておられる。

新野幸次郎

●選考委員
新野 幸次

兵庫県総務部次長
宇都宮 浩
（神戸大学名誉教授）

住野和子

◀ プログラムディレクター